

平成29年10月5日

「文化庁文化交流使フォーラム2017」の開催
～日本の心を世界に伝える～
(第15回文化庁「文化交流使」活動報告会)

文化庁では、平成15年度から、芸術家、文化人等、文化に携わる人々を「文化交流使」に指名し、世界の人々の、日本文化への理解の深化につながる活動や、外国の文化人とのネットワークづくりにつながる活動を展開しています(別紙1参照)。この度以下のとおり、平成28年度に海外へ派遣した6名の「文化交流使」によるフォーラムを文化庁が主催し、海外で行った実演やワークショップ等の活動報告を行いますので、お知らせいたします。

1. 日程
平成29年11月20日(月) 14:00～17:30(予定)
2. 会場
国連大学 ウ・タント国際会議場(3階) (東京都渋谷区神宮前5-53-70)
3. 出演者 ※敬称略、50音順

【文化交流使】

佐藤 可士和 (クリエイティブディレクター)
佐野 文彦 (建築家、美術家)
土佐 尚子 (アーティスト、京都大学教授)
藤間 蘭黄 (日本舞踊家)
柳家 さん喬 (落語家)
山田 うん (振付家、ダンサー)

【モデレーター】

榎木 孝明 (俳優)

4. 公式ホームページ
<http://culturalenvoy.jp/>
5. 参加方法
入場無料。事前申込制(抽選)。公式ホームページ又は別添チラシの申込フォーム(FAX)による。

※取材を御希望の方は、平成29年11月16日
(木) 17時までに、別紙2の取材申込書をFAXにてお申し込みください。

＜担当＞ 文化庁長官官房国際課
課長：奈良 哲(内線2845)
国際文化交流室長：秋山 麻里(内線3153)
国際文化交流室室長補佐：木南 秀隆(内線3166)
振興係長：内 誠(内線3167)
代表：03-5253-4111 FAX：03-6734-3813

文化庁文化交流使事業について（概要）
(Japan Cultural Envoy)

【目 的・趣 旨】

諸外国における日本文化への理解や日本と諸外国の芸術家・文化人等の連携協力を促進し、もって国際文化交流の振興を図るため、文化庁では、平成15年度より、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間諸外国へ派遣する「文化庁文化交流使事業」を実施している。

【事業の概要】

「文化交流使」の活動の概要は以下のとおり。

①概要

芸術家・文化人等を海外へ派遣し、実演、実技指導、講演、講義、上映、展示、共同制作、情報交換等を行う。

〔芸術家・文化人等には、複数の芸術家・文化人等で構成された1組の文化交流使とみなすことがふさわしいと文化庁が判断したものも含まれる。〕

②指名期間

原則として1か月以上12か月以内（最長1年）

※1か月につき8回以上、文化交流使としての活動を行う。

③文化庁の負担

交通費、現地滞在費（定額の宿泊費と日当）、現地での活動経費（活動期間に応じた定額の謝金）等

【活動実績】

平成15年度から28年度までに、延べ128名と26組（団体）の文化交流使が世界81か国以上で活動を行った。

※実績は、現地滞在者型（平成15年度～平成21年度）及び短期指名型（平成20年度～25年度）を含む。

【「文化交流使」の指名手続】

「文化交流使」は、「文化交流使」事業委員会※の推薦を経て、文化庁長官によって指名される。

（※「文化交流使」事業委員会は、「文化交流使」事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、関係行政機関、学識経験者等から構成される。）

平成 29 年 10 月 5 日
文 化 庁

「文化交流使フォーラム 2017」
取材申込書

1. 開催日時

平成 29 年 11 月 20 日（月） 14：00～17：30（予定）

2. 開催場所

国連大学 ウ・タント国際会議場（3 階）（東京都渋谷区神宮前 5-53-70）

* 取材を希望される場合は、取材内容を御記入の上、FAXでお申し込みください。

＜取材申込先＞

文化庁長官官房国際課

振興係長 内 誠（内線 3167）

振興係員 菅沼 万里絵（内線 3167）

代表：03-5253-4111

Fax：03-6734-3813

【取材内容記入欄】

■ 会社名

TEL：

■取材内容に✓を付けてください。

☐ カメラ

動画 台 / スチール 台

■担当者名（全ての方のお名前を記入してください。）

☐ ペン

☐ その他（個別取材などを御希望の場合は、取材対象者を御記入ください。）

交通案内 Access

会場 国連大学 ウ・タント国際会議場 (3階)

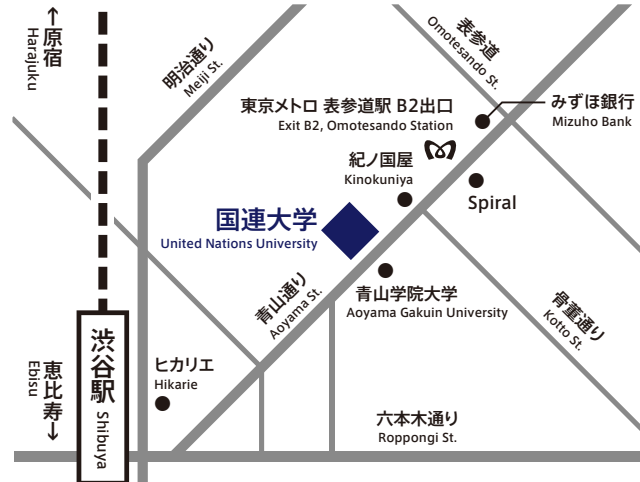
東京都渋谷区神宮前5-53-70

- 東京メトロ 銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅 B2出口より徒歩5分
- JR 渋谷駅より徒歩10分

U Thant International Conference Hall (3rd Floor),
United Nations University

5-53-70 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo

- 5 min. walk from Exit B2, Omotesando Station,
Tokyo Metro Ginza Line, Hanzomon Line and Chiyoda Line
- 10 min. walk from Shibuya Station, JR



入場申込方法 Ticket Reservation

必要事項を記入の上、インターネット又はFAXでお申し込みください。
FAX申込の場合、申込フォームに必要事項を記入してお送りください。

申込受付: 2017年11月2日[木] 正午まで

- ・申込多数の場合は抽選とし、発表は入場券の発送をもって代えさせていただきます。
- ・入場券は、11月13日[月]をめどにお送りいたします。入場時受付に提出してください。

**Reservations are accepted online or by fax
until Thursday, November 2 at 12:00 PM.**

- ・ If there are too many applications, seats will be decided by drawing.
If you win the drawing, we will send you your ticket.
- ・ Tickets will be sent near Monday, November 13.
Please be sure to bring your ticket to the event.

お問合せ Contact

「文化庁文化交流使フォーラム2017」受付事務局

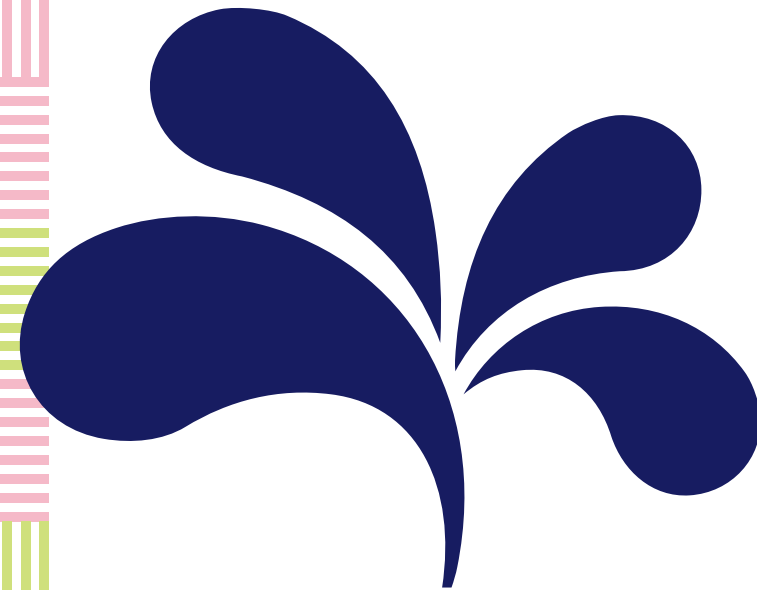
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2
大同生命霞が関ビル18階
日本コンベンションサービス株式会社内

Japan Cultural Envoy Forum 2017 Registration Office

Japan Convention Services, Inc.,
18F Daido Seimei Kasumigaseki Bldg.
1-4-2 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0013

TEL: 03-3502-6872

E-mail: jcef2017@convention.co.jp



第15回 文化庁文化交流使活動報告会

文化庁文化交流使 フォーラム2017

Japan Cultural Envoy Forum 2017

入場無料
事前登録制
Free of Charge
Advance Reservations Required



©Japan Society, photo by George Hirose

インターネット申込 Online Reservation <http://culturalenvoy.jp>

FAX申込フォーム FAX Form

*必ず御記入ください。

FAX: 03-3508-1696

■ 氏名(フリガナ) * Name

■ TEL *

■ FAX

■ 住所 * Address 〒

■ 所属 Affiliation

■ 日→英同時通訳レシーバー I request an audio interpretation device

要 Yes 不要 No

記載いただく個人情報については、本フォーラム申込受付の目的以外で使用することはありません。また、個人情報を文化庁「文化交流使フォーラム2017」受付事務局を除くほかの機関・業者等に提供することはありません。
Information you provide will never be used for anything other than this ticket application.
Your private information will not be seen by any organization other than the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan and Japan Cultural Envoy Forum 2017 Registration Office.



2017年11月20日[月]

開場 13:30 開演 14:00 17:30終了予定

会場 国連大学 ウ・タント国際会議場(3階)
東京都渋谷区神宮前5-53-70

主催 文化庁

Monday, November 20, 2017 at 2:00 PM

Doors open at 1:30 PM, event is to end at 5:30 PM

U Thant International Conference Hall (3rd Floor),
United Nations University

5-53-70 Jingumae, Shibuya-ku, Tokyo

Host: Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

<http://culturalenvoy.jp>

Find us on
Facebook

JapanCulturalEnvoyForum

Japan Cultural Envoy Forum 2017

第15回 文化庁文化交流使活動報告会 文化庁文化交流使フォーラム2017



文化庁では、芸術家、文化人等、文化に関わる方々を一定期間「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化につながる活動や、外国の文化人とのネットワークの形成・強化につながる活動を展開しています。文化交流使は、諸外国に一定期間（1か月～12か月間）滞在し、それぞれの専門分野で講演、講習や実演、デモンストレーションなどを行います。平成28年度までに、伝統音楽や舞台芸術、生活文化やポップカルチャーといった多様な分野で活躍する芸術家、文化人等、延べ128人と、26組（団体）を81か国以上へ派遣しています。

Since 2003, the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan has sent artists and other cultural figures abroad to serve as “Japan Cultural Envoys,” with a view to deepening the international community’s understanding towards Japanese culture, and to forming and strengthening networks with people around the world active in the cultural arena. The Envoys stay in one or more countries for a specified period (between one month and one year) where they conduct lectures, courses, demonstrations or other activities in their cultural fields. By the end of fiscal year 2016, a total of 128 individuals, and 26 larger groups specializing in various fields such as traditional music, performing arts, culture and lifestyle, and pop culture has been sent to more than 81 countries.

プログラム Program

- オープニングアクト（藤間蘭黄，山田うん）
- 開会挨拶（文化庁長官）
- 活動報告（文化交流使6名）
- トークセッション（文化交流使6名，文化庁長官）

- Opening Act
- Opening Remarks by the Commissioner for Cultural Affairs
- Reports from Japan Cultural Envoys
- Panel Discussion by Japan Cultural Envoys with the Commissioner for Cultural Affairs

モデレーター Moderator



榎木 孝明
Takaaki Enoki

俳優
Actor

1956年、鹿児島県出身。武蔵野美術大学デザイン科に学んだのち、劇団四季入団。1981年『オンディーヌ』で初主演。1983年劇団四季を退団し、翌年のNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』の主演でテレビデビュー。以後、映画『天と地と』テレビ『浅見光彦シリーズ』『NHK大河ドラマ』、舞台などで活躍。絵と旅を好み、アジア各地を中心に世界の風景を描き続けている。

出演者 Presenters



佐藤 可士和

Kashiwa Sato

クリエイティブディレクター
Creative director

株式会社博報堂を経て2000年に独立、クリエイティブスタジオ「SAMURAI」を設立する。グローバル社会に新しい視点を提示する、日本を代表するクリエイター。主な仕事にユニクロ、セブンイレブンのブランディング、国立新美術館のシンボルマークデザインなど。今治タオルのクリエイティブディレクション、有田焼創業400年記念事業における作品制作など日本の優れたコンテンツを海外に発信することにも力を注いでいる。慶應義塾大学特別招聘教授、多摩美術大学客員教授、東京ADC理事。『佐藤可士和の超整理術』（日本経済新聞社）はじめ著書多数。



土佐 尚子

Naoko Tosa

アーティスト、京都大学教授
Professor at Kyoto University, Artist

専門はアート&テクノロジー。感情・意識・物語・民族性といった人間が歴史の中で行為や文法などの形で蓄えてきた芸術文化を、デジタル映像で表現し、心で感じる「カルチュラル・コンピューティング」を提唱し、作品制作、研究を行う。近年では、研究を進展させ、ハイスピードカメラを使い、機械の目で自然を生け捕る映像表現「Invisible Nature」に取り組んでいる。最近では2012年韓国の麗水万博で250x30mのLEDスクリーンに龍を泳がせる作品を発表。2017年4月に1か月間ニューヨークタイムスクエアの60台のビルボードで作品を発表。海外では、ニューヨーク近代美術館、国内では国立国際美術館などに作品が収蔵されており、メトロポリタン美術館等での招待展示がある。



柳家 さん喬

Sankyo Yanagiya

落語家
Comic storyteller

1967年に五代目柳家小さんに入門し、1981年に真打昇進。古典の人情噺や滑稽噺を得意とする実力派。日本全国で寄席や独演会の高座に出演し、後進の育成に励む傍ら、日本語学習者が落語を通して日本語表現や日本文化理解を深めるための活動を継続している。2006年以降毎年実施している米国ミドルベリー大学夏期日本語学校における落語公演・小噺指導のほか、韓国、シンガポール、チェコ、ハンガリー、フランス、ポーランドなどにおいて公演・指導を行っており、その活動は、各地の日本語教育関係者から高く評価されている。2014年国際交流基金賞受賞。2017年紫綬褒章受賞。



佐野 文彦

Fumihiko Sano

建築家、美術家
Architect, Artist

1981年奈良県生まれ。京都、中村外二工務店にて数寄屋大工として弟子入り。設計事務所などを経て、2011年、佐野文彦studio PHENOMENON（現 Fumihiko Sano Studio）を設立。大工として、技術や素材、文化などと現場で触れ合った経験を現代の感覚と合わせ新しい日本の価値観を作ることを目指してデザインやインスタレーションを手掛けている。



藤間 蘭黄

Rankoh Fujima

日本舞踊家
Nihonbuyo dancer

撮影：篠山紀信

江戸時代から続く「代地」藤間家の後継者。5歳で祖母藤間藤子（重要無形文化財保持者）・母藤間蘭景より踊りの手ほどきを受ける。「代地」に代々伝わる古典作品の継承と日本舞踊普及に力を注ぎ、初心者から師範まで幅広い対象者への指導とともに公演活動も数多い。「五曜會」同人。長唄は故家元6世杵屋正次郎、能楽は金春流故金春信高、茶道は裏千家即日庵に師事。囃子は故藤舎せい子に師事し、藤舎清士の名前も持つ。創作作品への評価も高く2015年発表の『信長』の成果などにより、第66回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。



山田 うん

Un Yamada

振付家、ダンサー
Choreographer, Dancer

器械体操、バレエ、舞踏などを経験し、ダンサー・振付家として活動始める。17人のダンサーが所属する日本における希少なコンテンポラリーダンスのカンパニーとして、日本、アジア、中東、欧州、アメリカ等で舞台公演を行う。音楽、美術、文学、学術、ファッション、伝統芸能など異分野との共同制作や、演劇やオペラの劇中所作指導や新体操選手への振付も行う。また老若男女問わず誰にでも開かれたワークショップを行ったり、世界各国の国立バレエ団、大学、ダンス教育機関に招かれ、マスタークラスや作品提供を通して世界の第一線で活躍するプロダンサーの育成にも貢献している。第8回日本ダンスフォーラム大賞、第65回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。